

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
障害者福祉		必修 (社.精) 選択 (理.作.心)	2	2.3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
井出 輝美	講師控室	kyoumu		授業終了後に質問等受付	
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt; 学生が、障害者福祉の概念について、障害者福祉の歴史と障害者観の変遷、法体系と制度の発展過程と仕組みについて理解し、障害による生活課題を踏まえて、社会福祉士、精神保健福祉士としての適切な支援の在り方を理解することを目的とする。</p> <p>&lt;概要&gt; 障害者福祉の基本理念を基に、障害者の生活及び取り巻く環境について専門的知識を獲得し、適切な支援とは何か考察を深めるため講義とグループワークを行う。</p>				
学習上の助言	障害を理解するとはどういうことなのか、講義や事前学習ならびに学生同士でのディスカッションを行うことにより学びを深めていって欲しい。				
教科書	最新・社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座/一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集/中央法規				
参考書	指定参考書なし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	障害者の取り巻く社会情勢と生活実態について理解し、説明ができる。			HSU(1)(2)(3)、WP(1)(2)(3)	
②	障害者にかかわる法体系について理解し、説明ができる。			HSU(1)(2)(3)、WP(1)(2)(3)	
③	障害者総合支援法の概要について理解し、説明ができる。			HSU(1)(2)(3)、WP(1)(2)(3)	
④	専門職の役割と他職種連携について理解し、説明ができる。			HSU(4)(5)、WP(2)(6)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (講義概要・講義の進め方・評価方法等) 障害者福祉を学ぶことの意義について学習する	講義	シラバスを把握しておく。 教科書の内容を把握しておく。		4
2	障害者理念について 障害福祉の基本理念と障害観の変遷	講義	事前にテキストを読んでおく。		4
3	日本の障害者福祉の歴史と展開について学ぶ	講義	事前にテキストを読んでおく。		4
4	実践事例を通じて障害者の生活実態について理解する	講義	事前にテキストを読んでおく。		4
5	事例を通じて ICF を用い社会モデルについて学ぶ	講義	事前にテキストを読んでおく。		4
6	障害者に関する法制度 障害者関係の法体系を理解する	講義	事前にテキストを読んでおく。		4
7	障害者総合支援法における自立支援制度①	講義	事前にテキストを読んでおく。		4
8	障害者総合支援法における自立支援制度②	講義	事前にテキストを読んでおく。		4
9	障害者の状態像の理解 身体障害・知的障害・精神障害について理解する	講義	事前にテキストを読んでおく。		4
10	障害児の理解 児童福祉法に基づく障害児支援を理解する	講義	事前にテキストを読んでおく。		4
11	障害者の就労や経済面での社会保障を理解する	講義	事前にテキストを読んでおく。		4
12	障害者の権利擁護について学ぶ	講義	事前にテキストを読んでおく。		4
13	多職種連携とその実際① 障害者福祉における関係機関の役割と連携について理解する	講義	事前にテキストを読んでおく。		4
14	多職種連携とその実際② 障害者福祉における関係機関の役割と連携について理解する	講義	事前にテキストを読んでおく。		4
15	障害者の行政計画 (福祉計画策定等) を基に地域の障害者福祉の課題を理解する	講義	事前にテキストを読んでおく。		4
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		60	0	0	0	40	100
総合力指標	知識・技術力	30	0	0	0	0	30
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	10	10
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	10	20
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	学期末に定期試験を実施し評価する。試験は講義で用いたテキスト・配布プリントから出題するので、予習復習を行い理解を深めること。 ・試験形式（筆記試験） ・問題形式（選択式・記述式・穴埋め式など）	試験結果を掲示する。			
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	講義中に理解を深めるため、受講生間で小グループによるディスカッションやグループワークを実施する。質問・リアクションペーパーの内容等を含め、積極的に学ぶ姿勢を評価する。	授業で提出したリアクションペーパーは次回授業時に評価をして返却する。			
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>【受講する際の注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登校型授業で実施するが、今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって Teams を使った同時双方向型授業の変更が行われることもあり得る。</li> <li>・大学が公表している感染症対策及び教員が示す授業方法を遵守すること。守れない場合は授業の参加を認めない場合がある。</li> <li>・受講態度に問題がある場合、注意しても守れない学生については退室してもらう</li> <li>・授業中の私語やスマートフォン等の電子機器類の使用は禁止する。</li> </ul> <p>【履修についての条件】 社会福祉士・精神保健福祉士取得希望者は必ず履修すること。</p> <p><b>教員の実務経験：</b> 社会福祉士取得後、10年の実務経験。</p> <p><b>実践的授業の内容：</b> 教員が実際に現場で担当している事例等を用いながら（個人を特定できないよう加工修正）、教科書の理論について現場の実践内容を踏まえて説明し、実践と理論の双方からソーシャルワークを理解できるように工夫する。</p>							